

2025年度

学校評価アンケート 報告

横浜市立新石川小学校

📍 3 - 12 -1 shinishikawa.Aoba,Yokohama City, 225-0003

🌐 www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinishikawa/

01

保護者アンケート 結果

ー実施概要ー

令和7年12月にGoogle Forms を用いて実施

保護者が各自でアンケートフォームに入力する形式

設問数10（設問1-6は「お子さんは～」、設問7-10は（学校は～）」

出席番号入力・回答者氏名入力

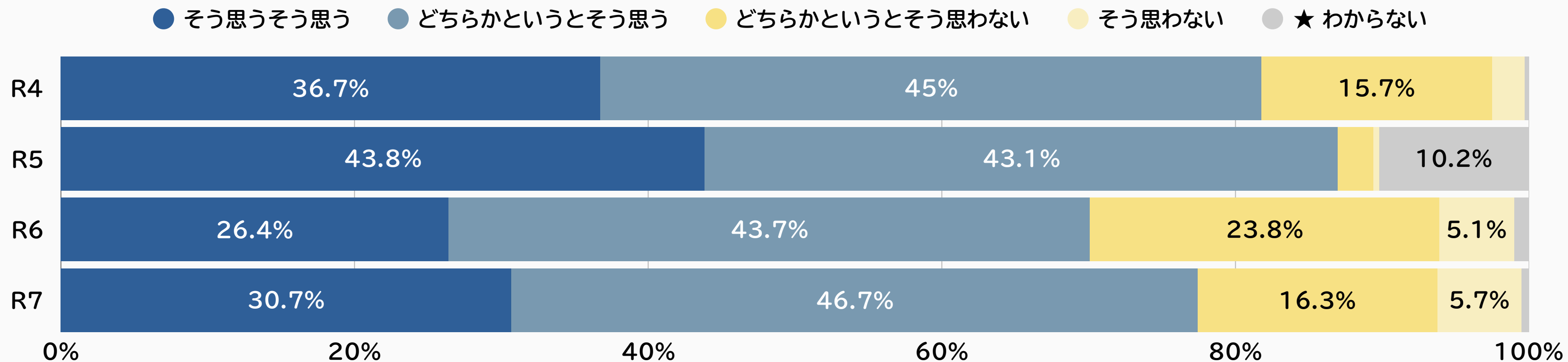
01



01

保護者アンケート 結果

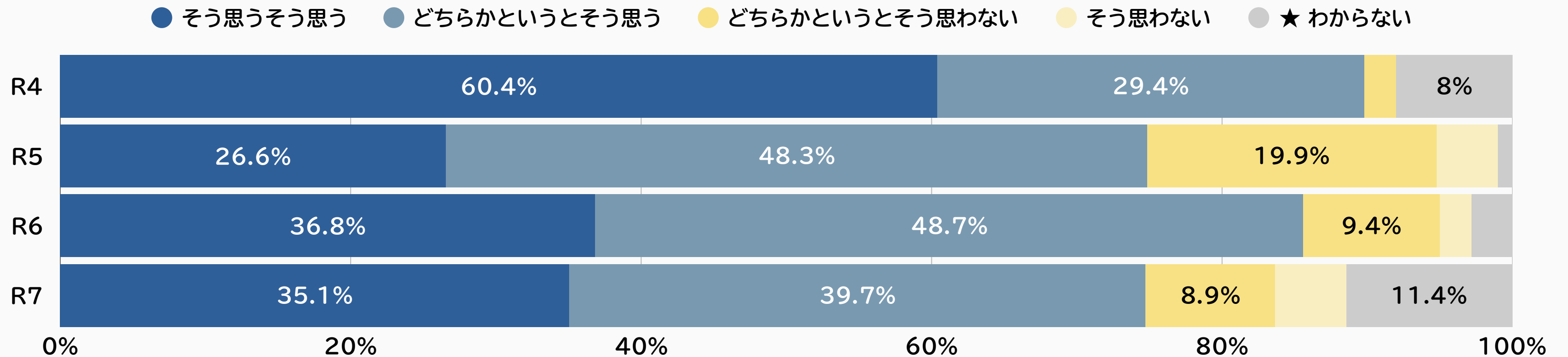
お子さんは、自分からすすんで学習に取り組んでいる。



01

保護者アンケート 結果

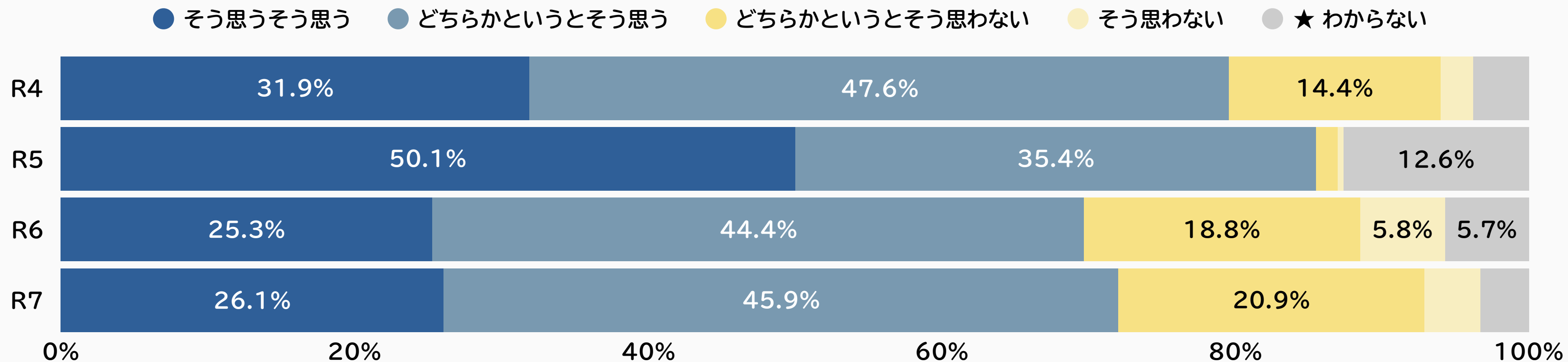
お子さんは、GIGA 端末(iPad)を効果的に使って学習に前向きに取り組んでいる。



01

保護者アンケート 結果

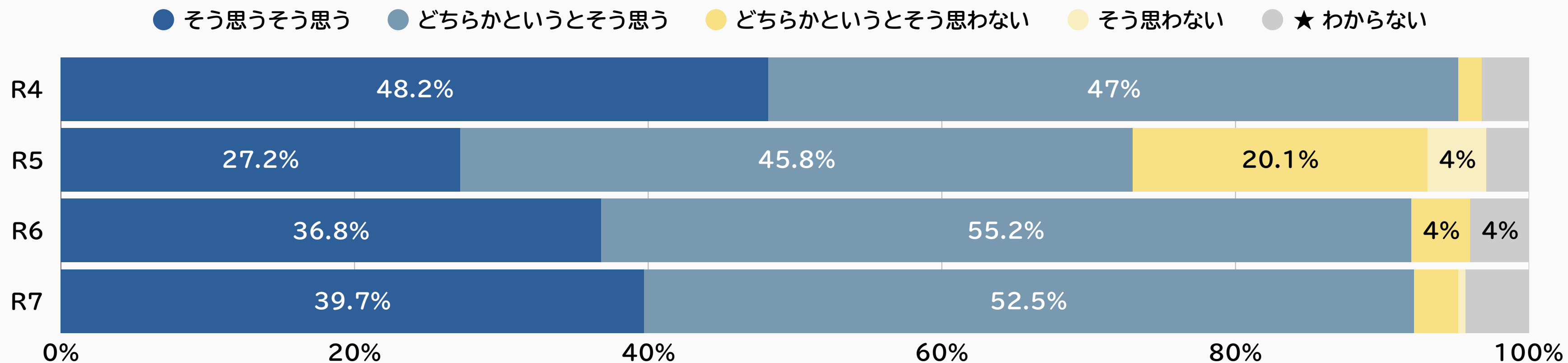
お子さんは、自分から進んであいさつをしている。



01

保護者アンケート 結果

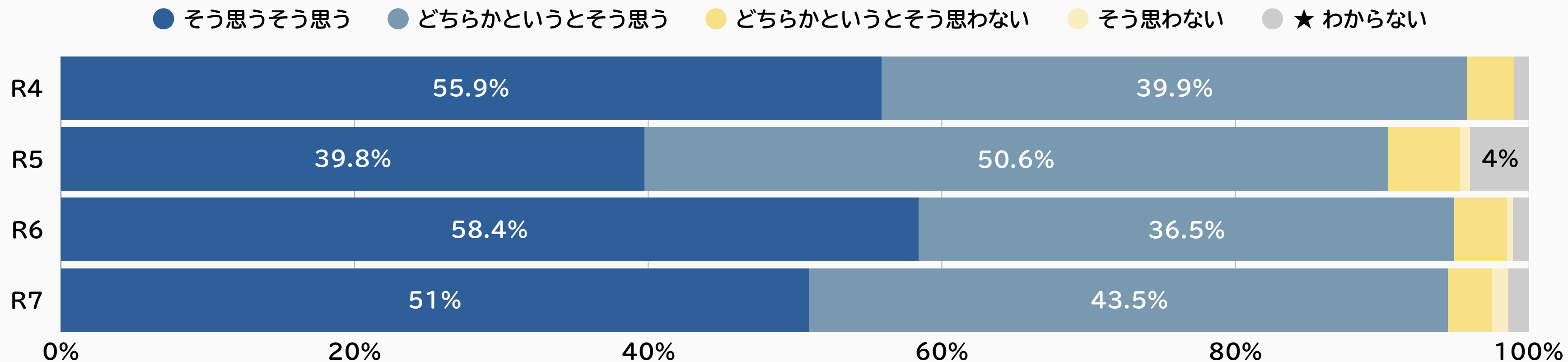
お子さんは、周りの人たちに、思いやりのある行動をとっている。



01

保護者アンケート 結果

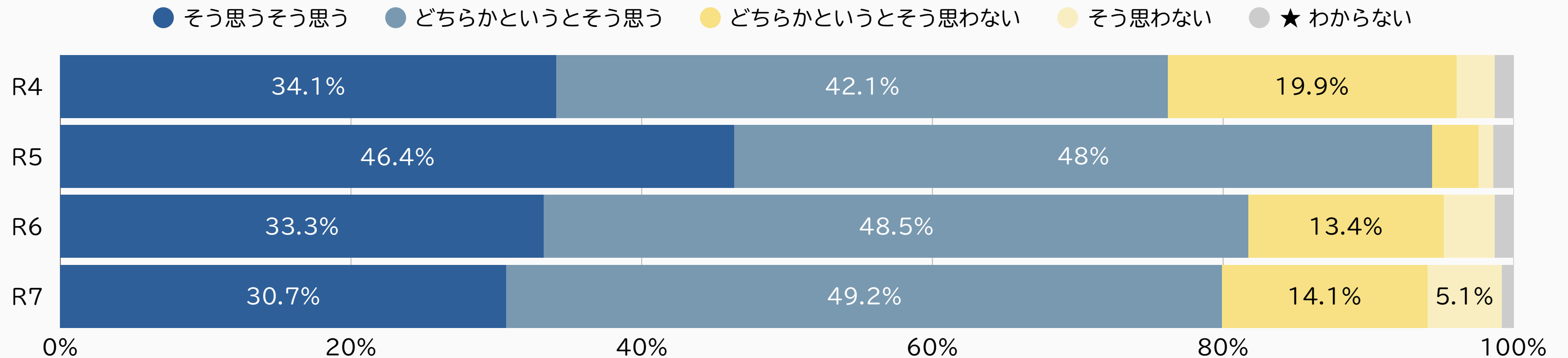
お子さんは、学校のきまりを理解し、学校生活を送っている。



01

保護者アンケート 結果

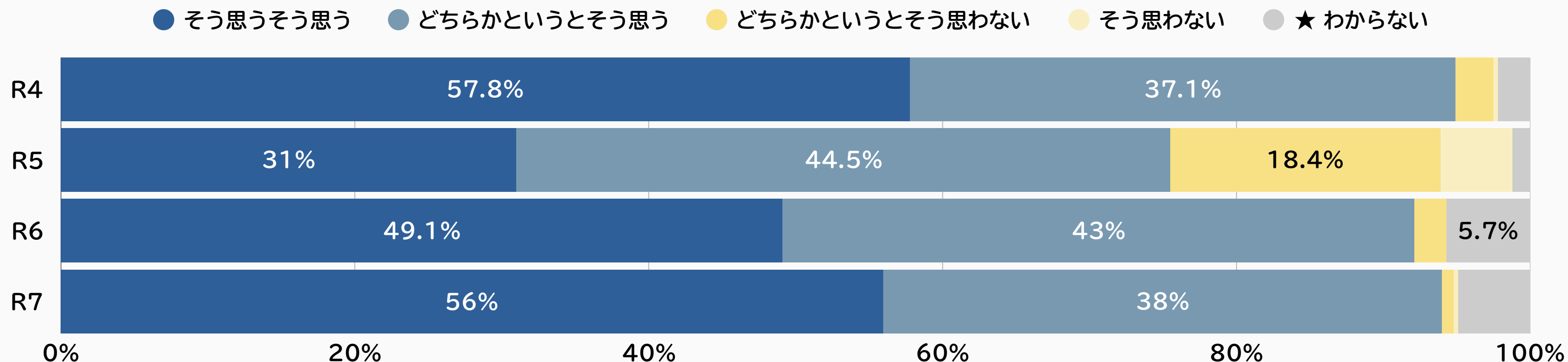
お子さんは、好き嫌いせずに食事をしようとしたり進んで運動したりと、自分の健康について考えながら生活している。



01

保護者アンケート 結果

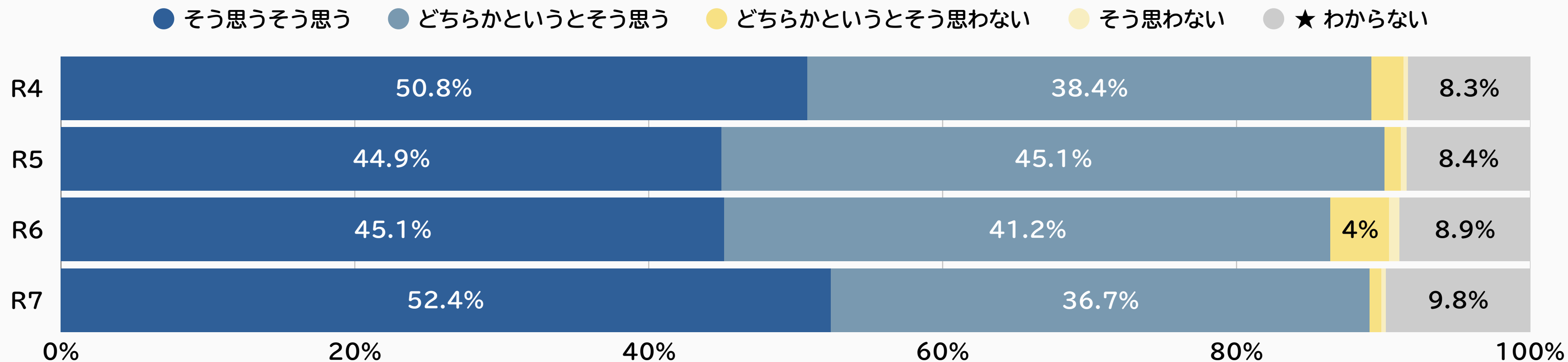
学校は、地域の特色を生かした学習や外部講師を呼んだ学習を取り入れたり、教科担任制を取り入れたりしながら、子どもたちにあった授業の工夫に取り組んでいる。



01

保護者アンケート 結果

学校は、担任だけでなく、複数の職員で一人ひとりの子どもたちに寄り添った指導や支援に取り組んでいる。



01

保護者アンケート 結果

学校は、子どもの「やってみよう！」を引き出し、実現に向けて児童・教職員が協力して教育活動に取り組んでいる。

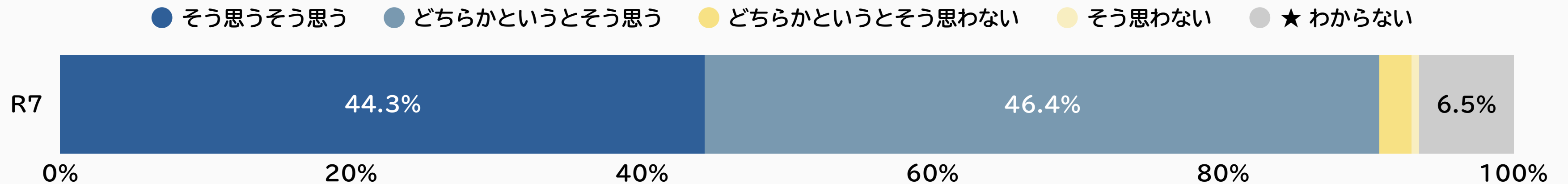


R7からの新項目

01

保護者アンケート 結果

学校は、子ども同士の関わりを大切にし、互いに高め合えるよう、授業内容や行事内容の工夫に努めている。



R7からの新項目

02

新小っこアンケート結果

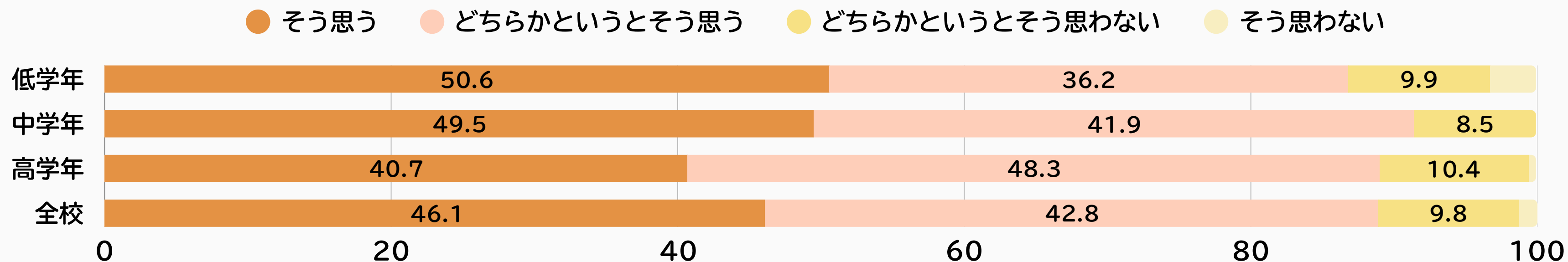
ー実施概要ー

令和7年12月にロイロノート・アンケート機能を用いて実施
各学年ごとにアンケートファイルを作成し、担任指導のもとで回答
Googleアカウントより、回答者は自動的に記録される
低中高学年ブロックごとに集計

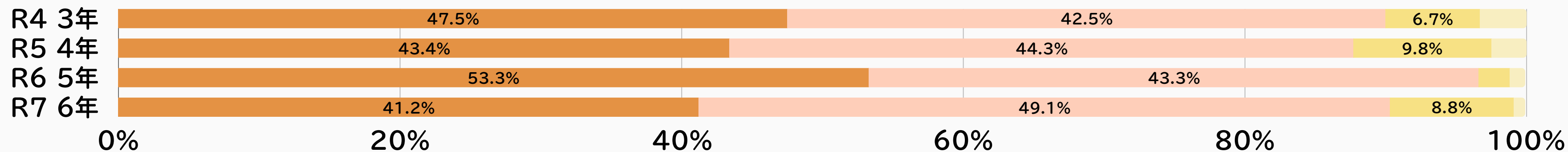
02



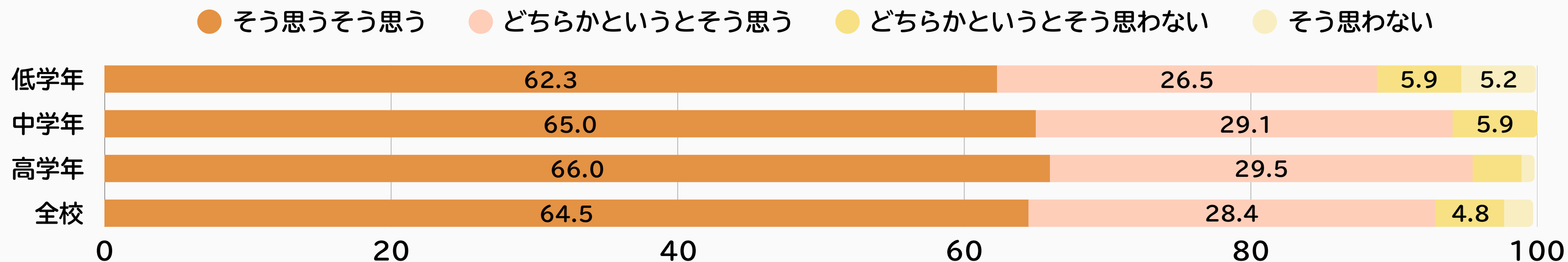
進んで学習に参加している



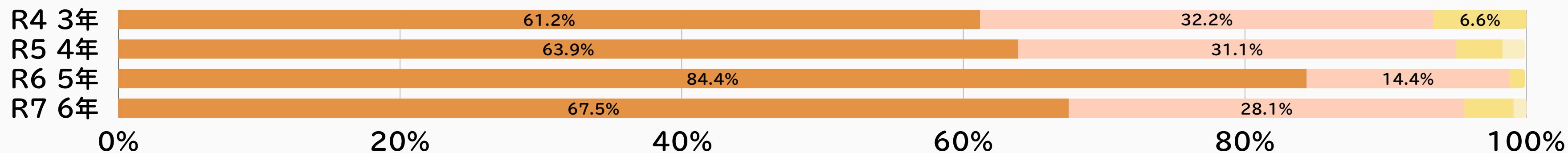
現6年生 経年変化



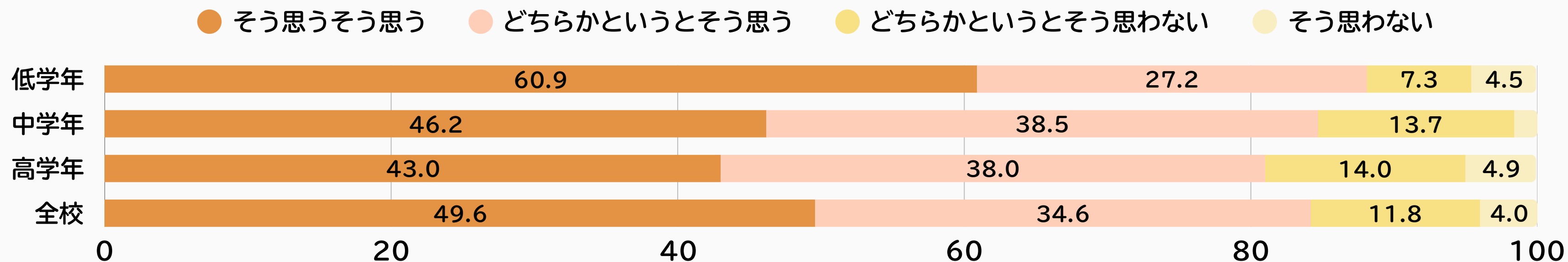
GIGA端末を使う授業にすすんでとりこんでいる。



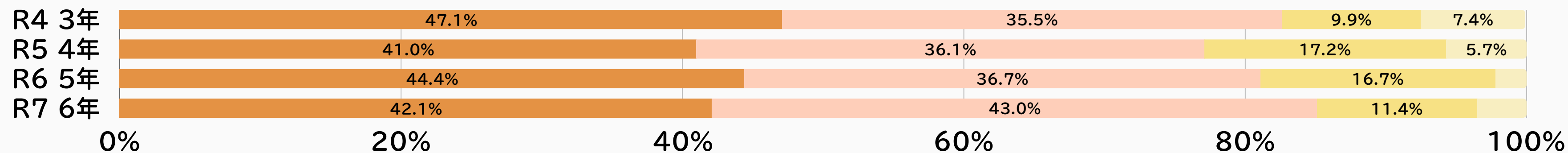
現6年生 経年変化



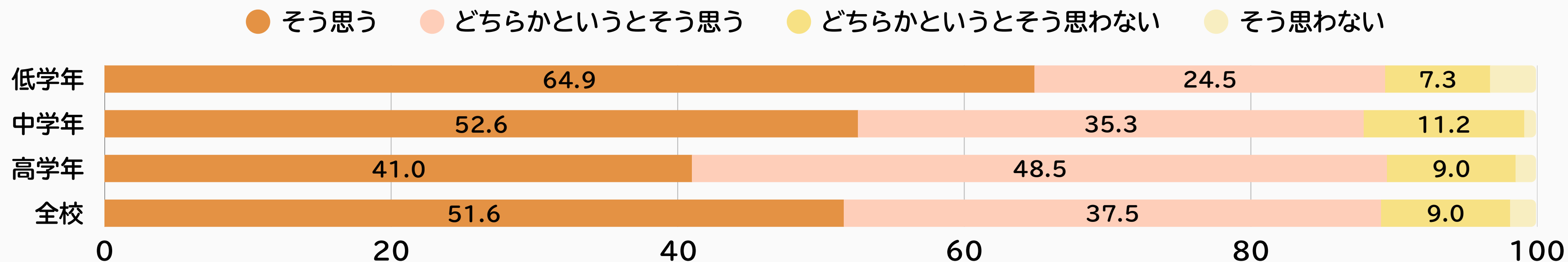
自分からすすんであいさつをしている。



現6年生 経年変化

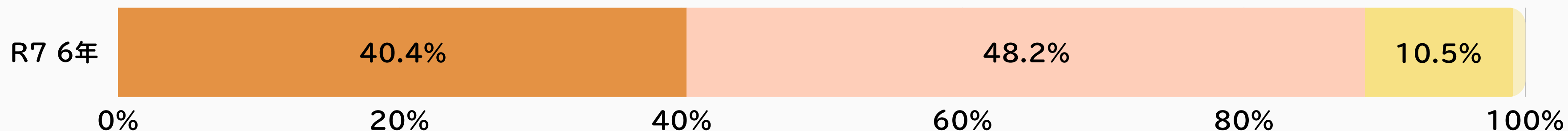


自分から、困っている友達の手伝いをしたり、やさしく声をかけたりできる。

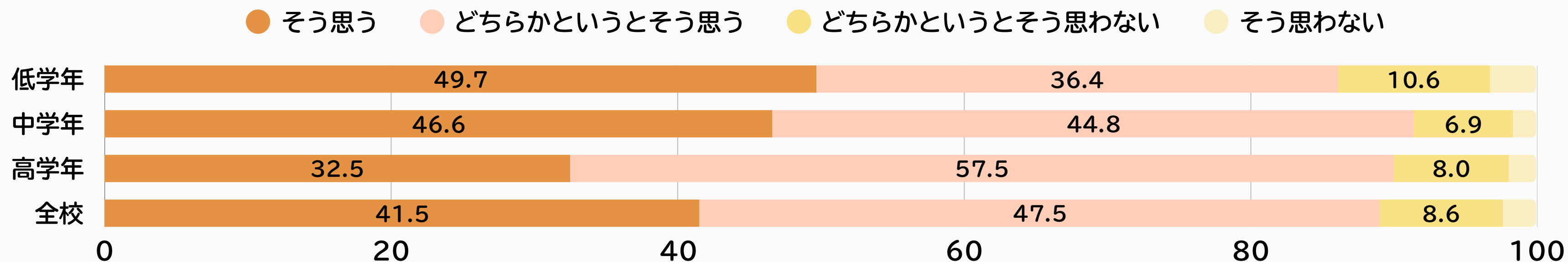


現6年生 経年変化

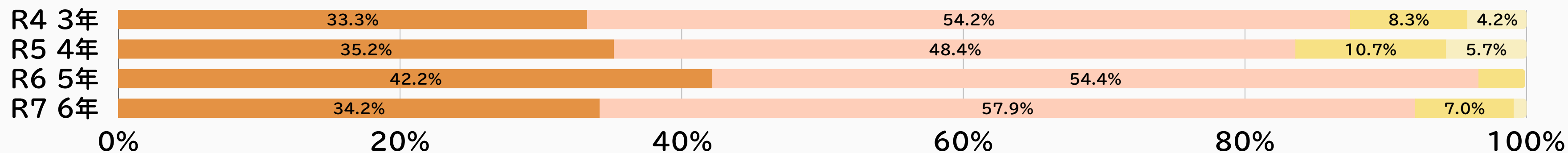
R7からの新項目



まわりの人たちに おもいやりのある行動をとっている。

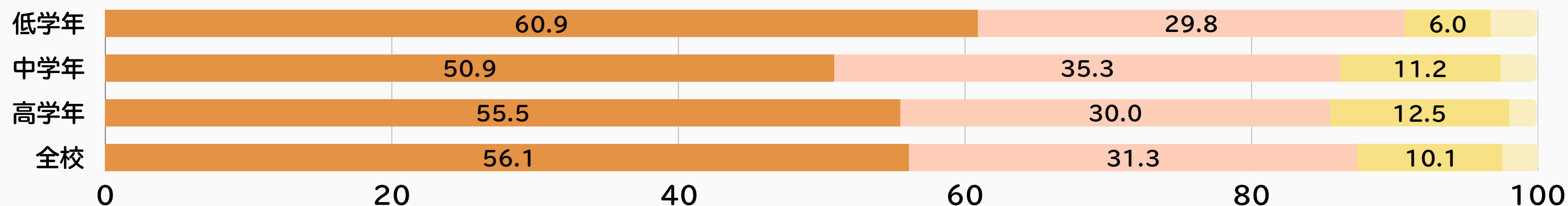


現6年生 経年変化

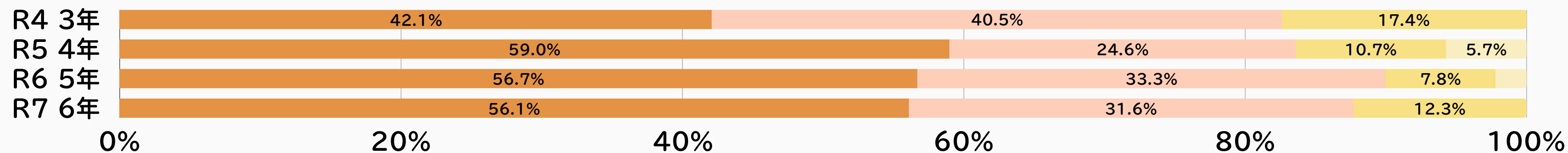


好き嫌いをせずに食事をしようしたり，自分からすすんで運動したりと，自分の健康について考えながら生活している。

● そう思うそう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない



現6年生 経年変化



02

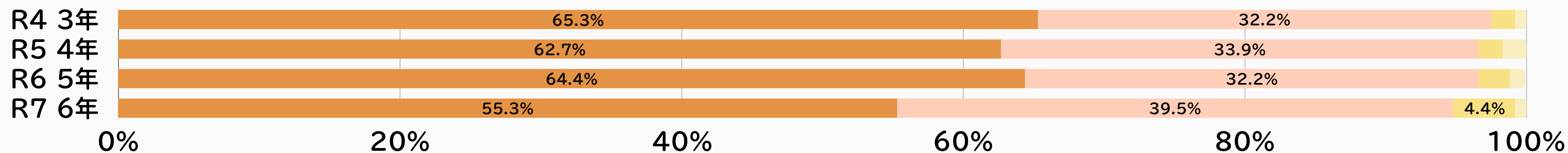
新小っこアンケート 結果

地域のことについての学習や体験をともなった学習があったり，いろいろな先生の授業があったりと，授業が工夫されている。

● そう思うそう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない



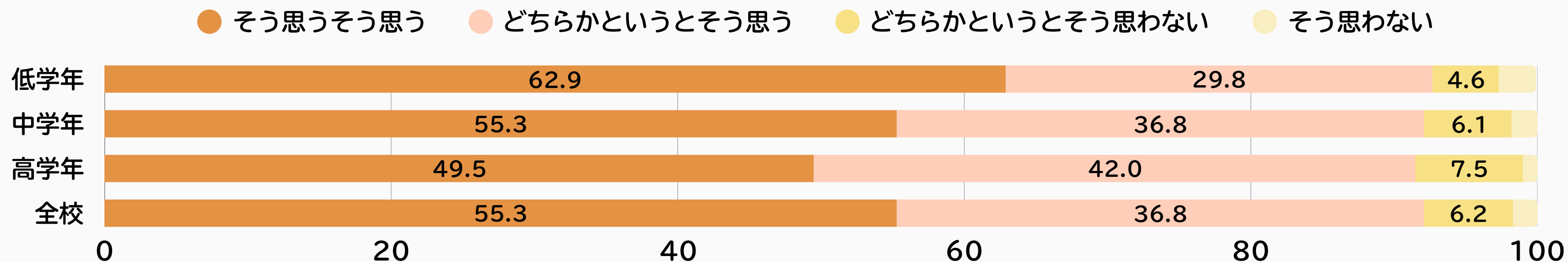
現6年生 経年変化



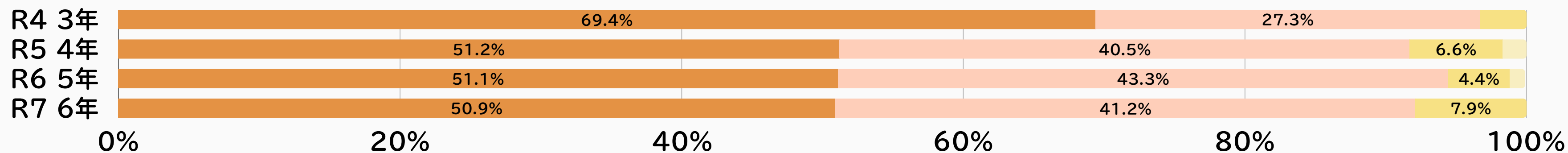
02

新小っこアンケート 結果

きまりを守って，学校生活をおくっている。

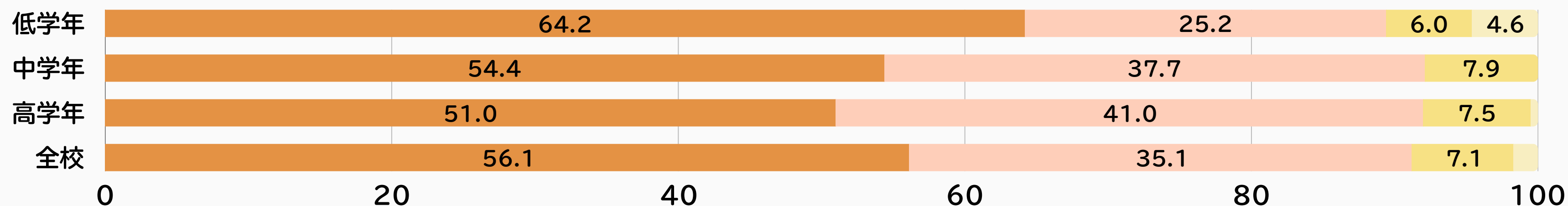


現6年生 経年変化

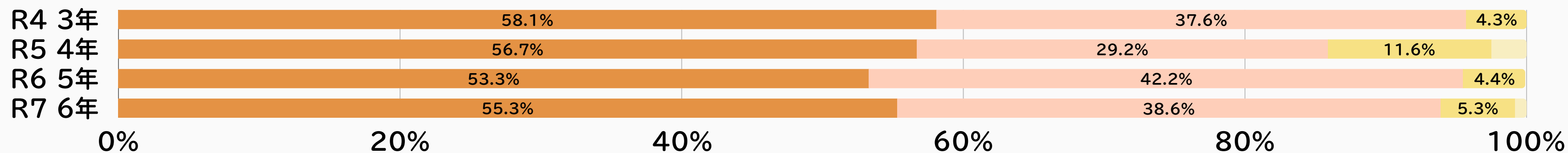


自分が困ったときに相談にのってくれるなど，担任の先生だけでなく，学年の先生や他の先生も自分たちのことをみまもったり，指導したりしている。

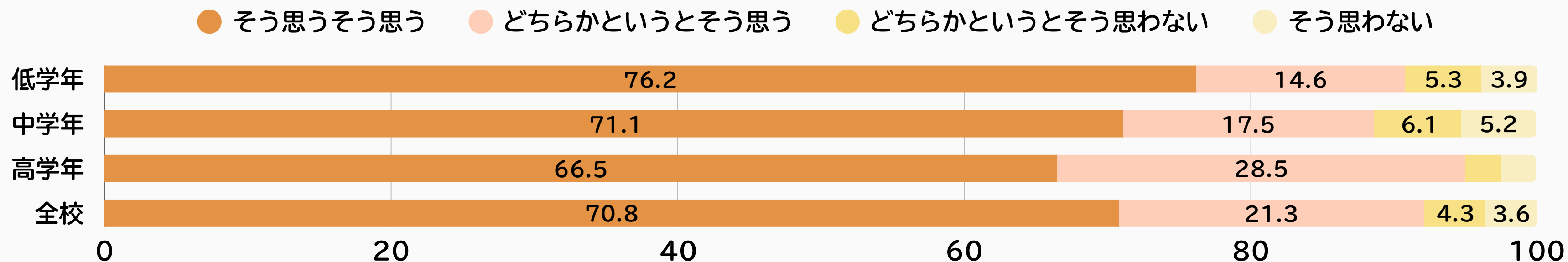
● そう思うそう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない



現6年生 経年変化



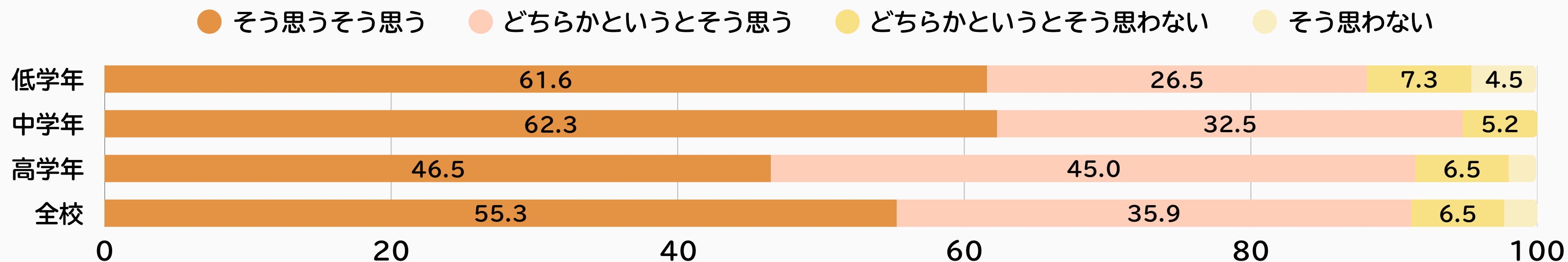
学校生活がたのしい。



現6年生 経年変化



学校の中で「やってみよう！」を意識して、進んで取り組むことができたものがある。



現6年生 経年変化

R7からの新項目



03

分析と考察

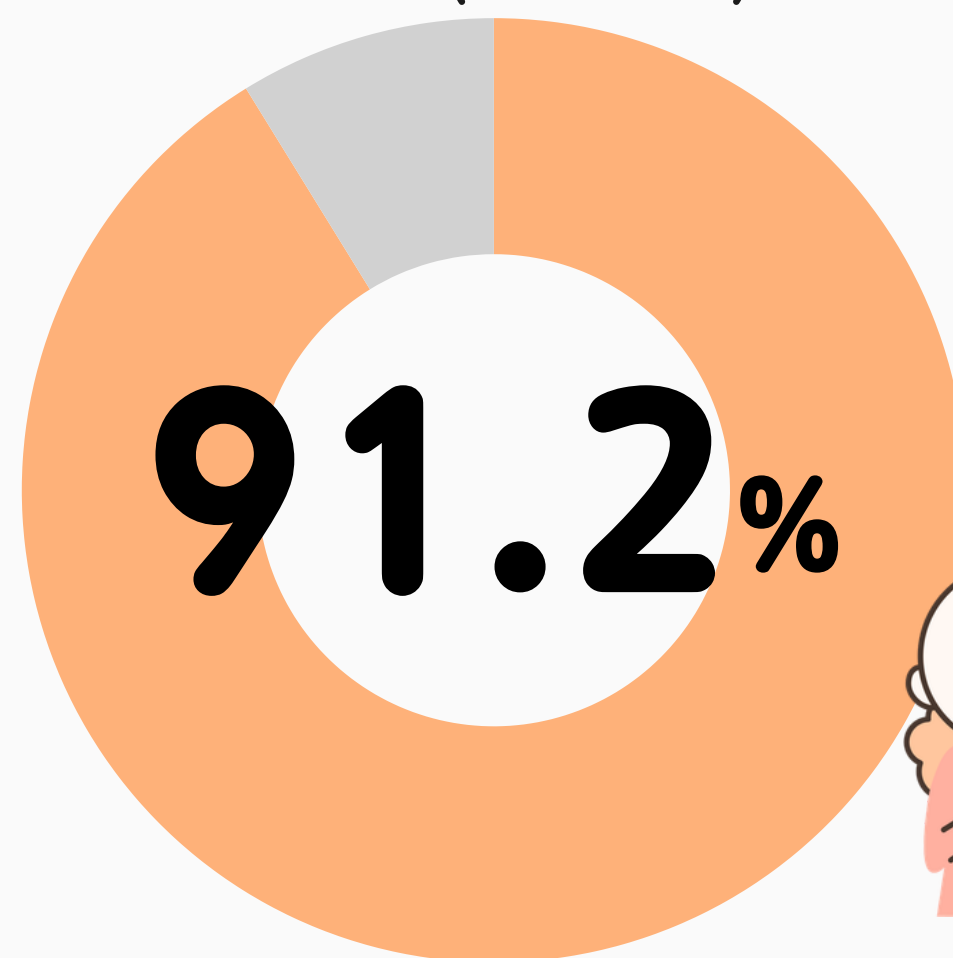
学校教育目標「豊かなかかわりを通して 共に高めあい 主体的に取り組む子」
の視点で保護者・児童の解答状況から分析と考察をしていく

03



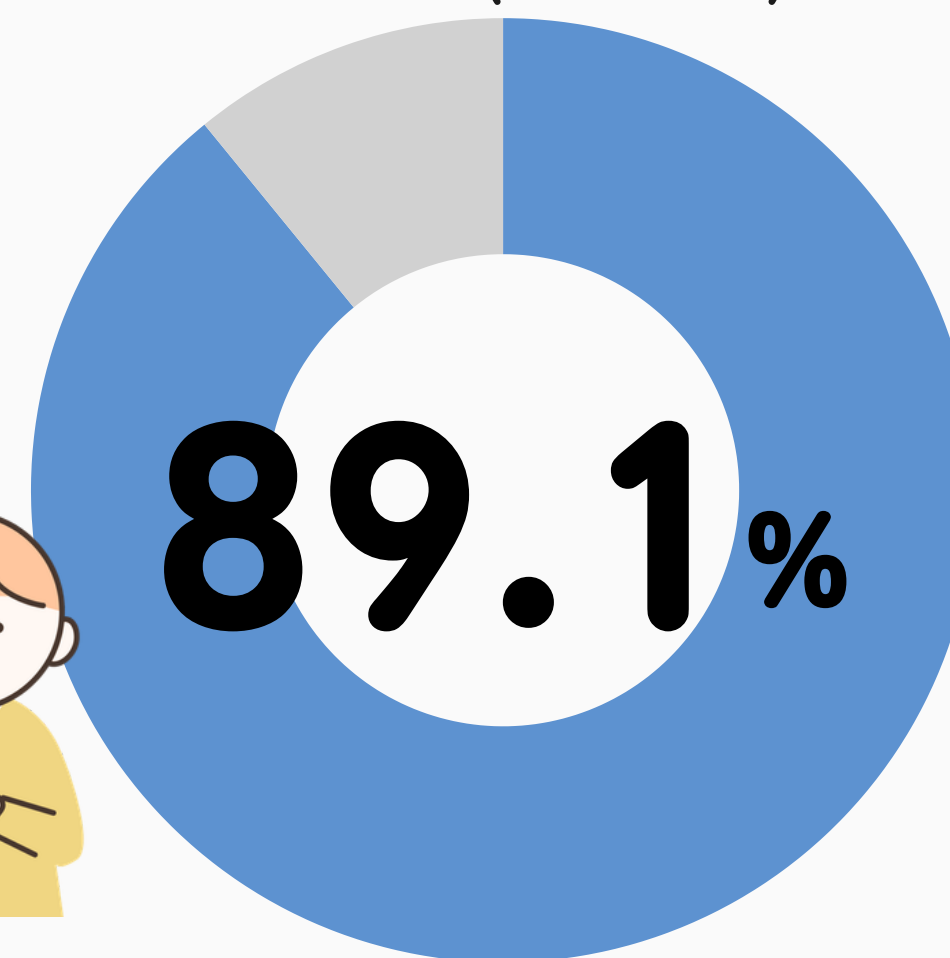
安心につながる人との繋がり

児童回答(肯定的回答)



困った時に先生が相談にのってくれた
り、指導したりしてくれる

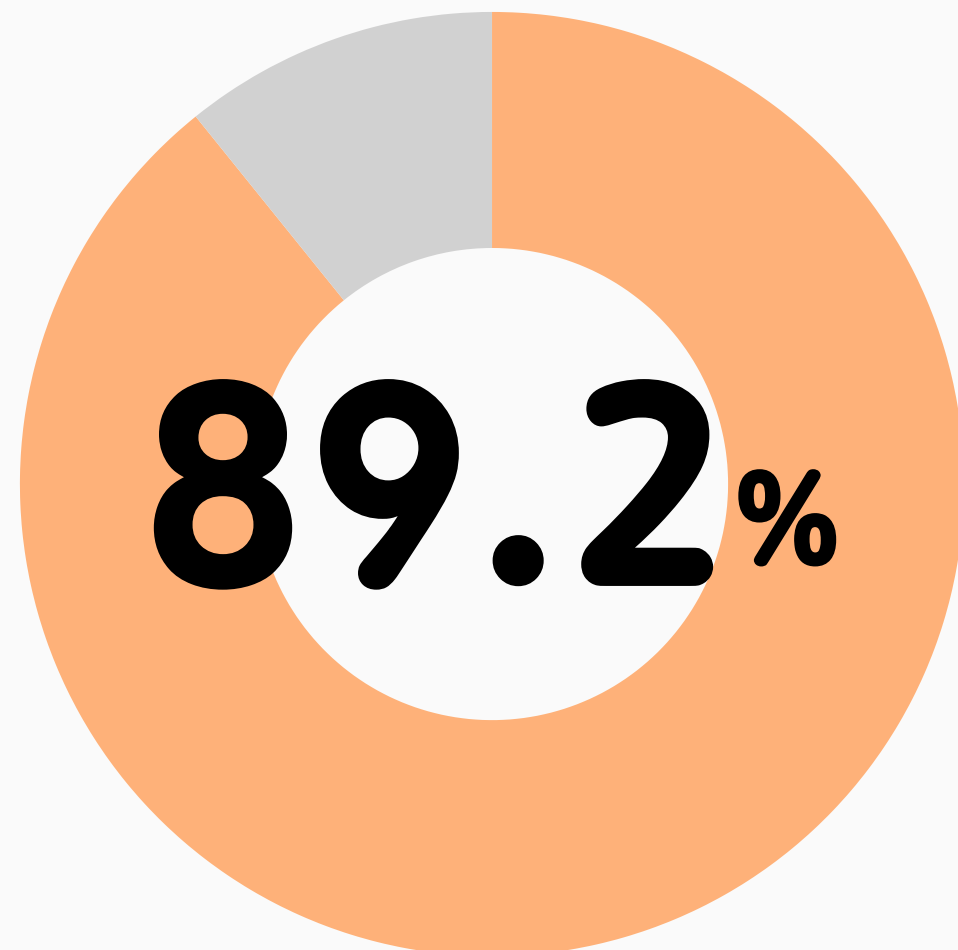
保護者回答(肯定的回答)



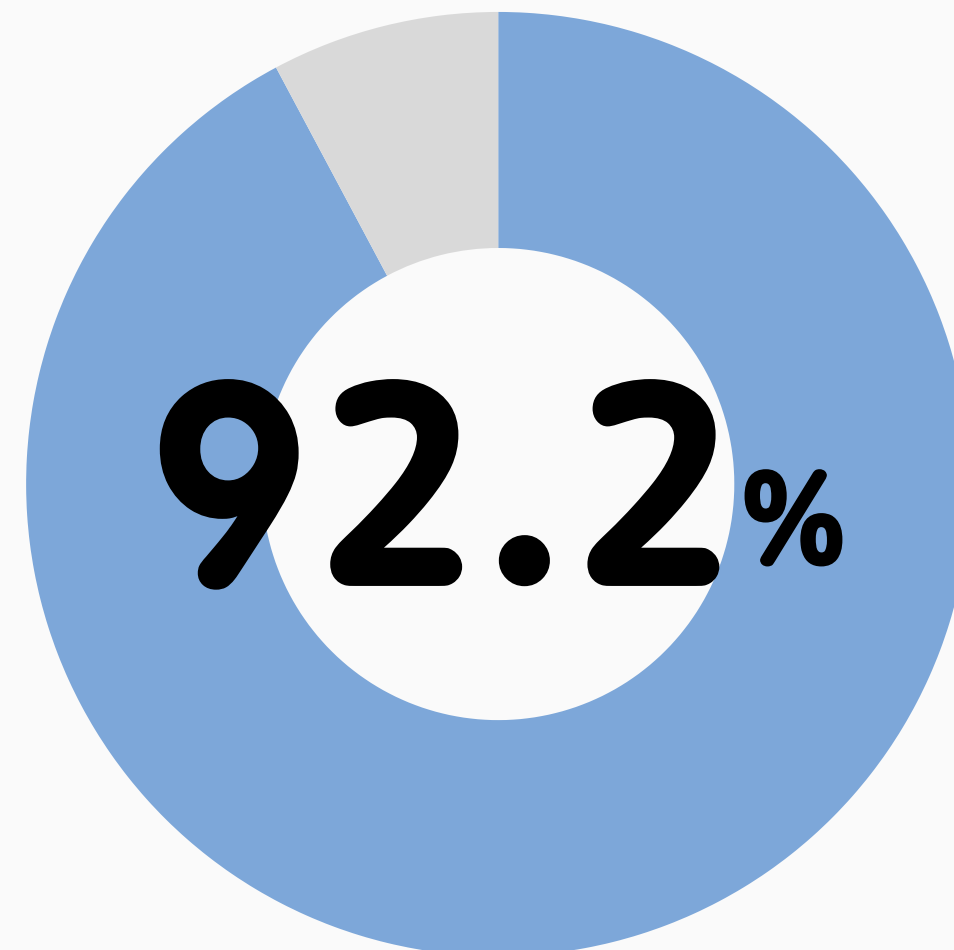
複数の職員で子どもたちに寄り添った
指導や支援



「思いやり」や「かかわり」に関する肯定的な評価

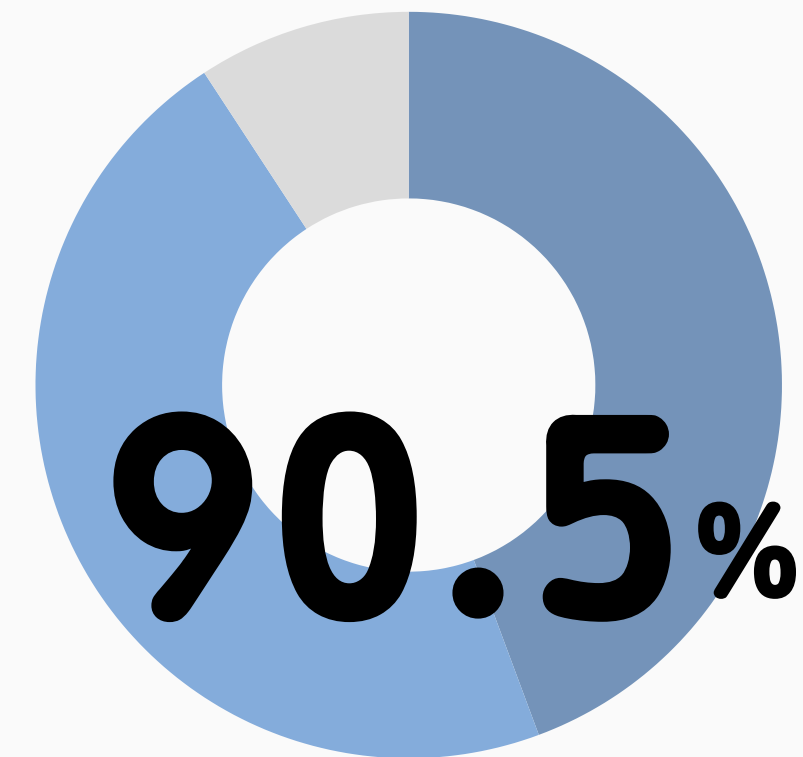


「思いやり」「困っている人へ〜」への設問に肯定的な回答をした児童の割合



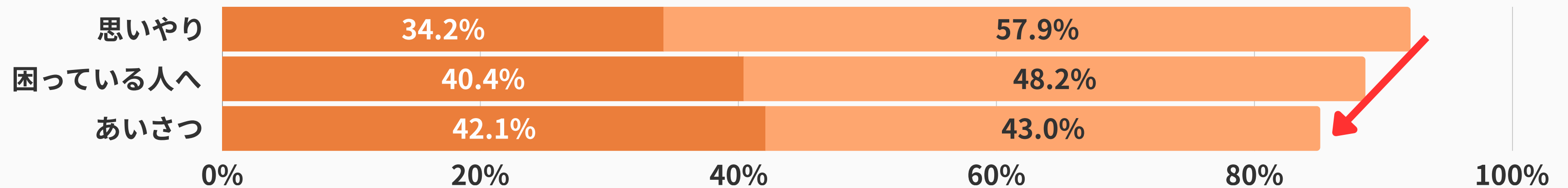
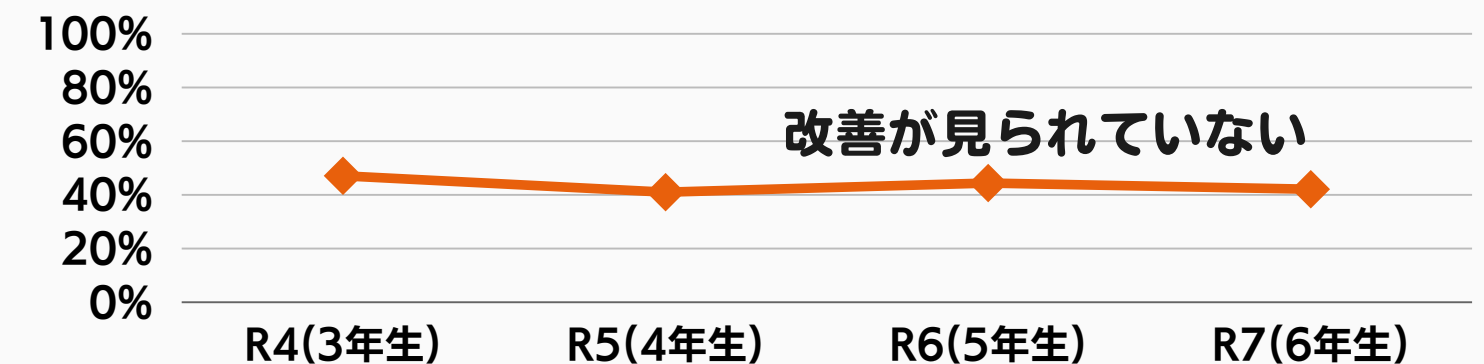
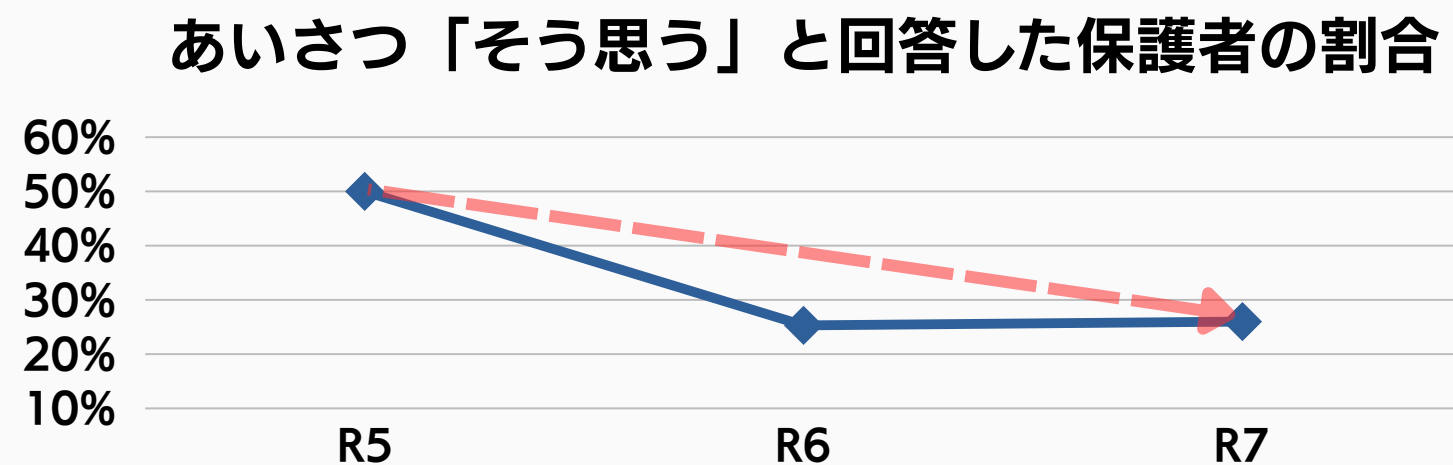
「思いやり」への設問に肯定的な回答をした保護者の割合

学校は、子ども同士の関わりを大切にし、互いに高め合えるよう、授業内容や行事内容の工夫に努めている。



保護者回答（R7年度 新項目）

「あいさつ」の意識が課題

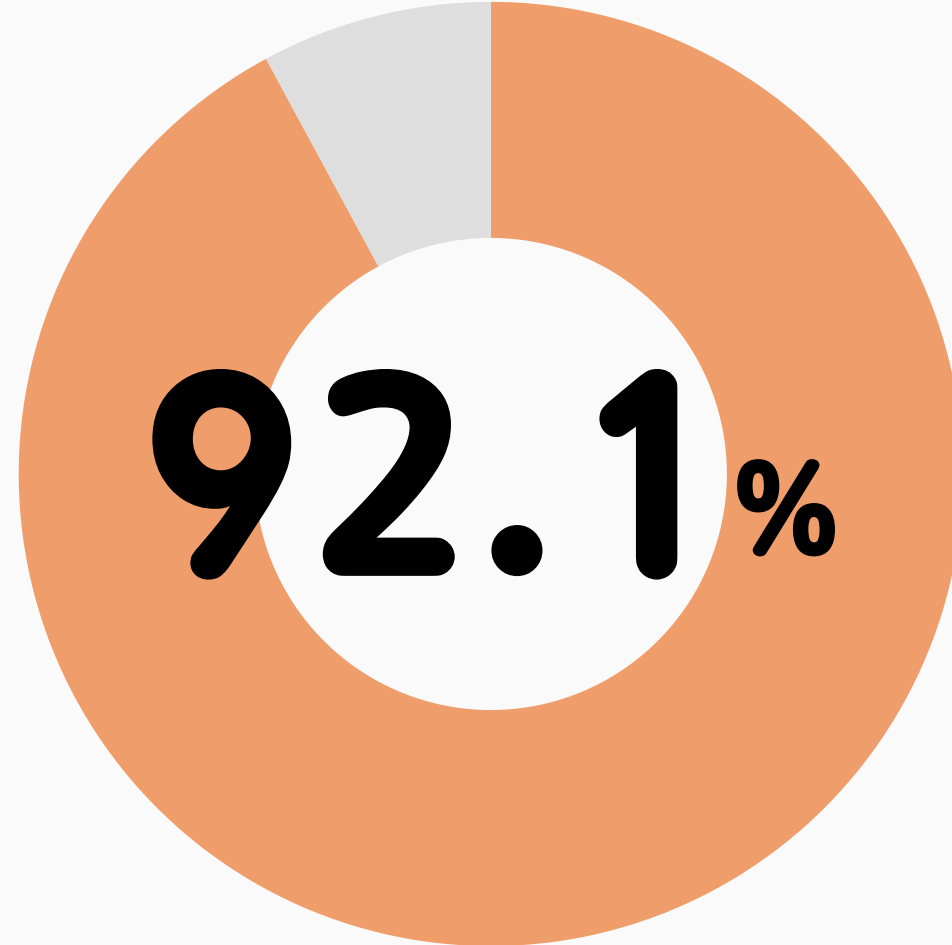
あいさつ「そう思う」と回答した
現6年生の経年変化

家庭と学校が共に取り組む必要性がある

地域のことについての学習や体験をともなった学習があったり，いろいろな先生の授業があったりと，授業が工夫されている。

学校は、子ども同士の関わりを大切にし、互いに高め合えるよう、授業内容や行事内容の工夫に努めている。

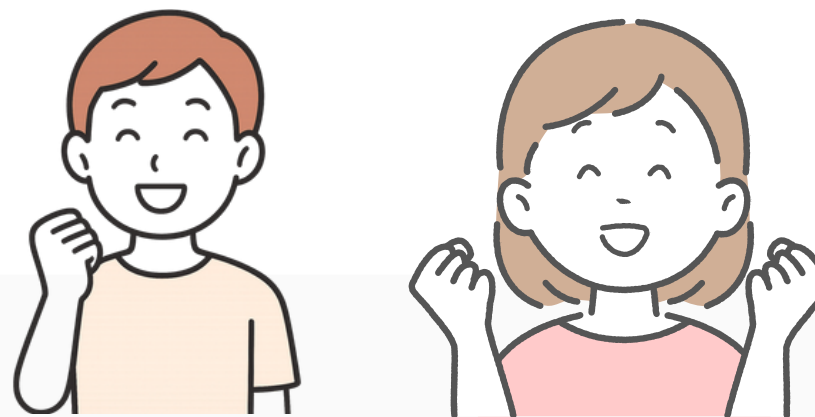
児童回答



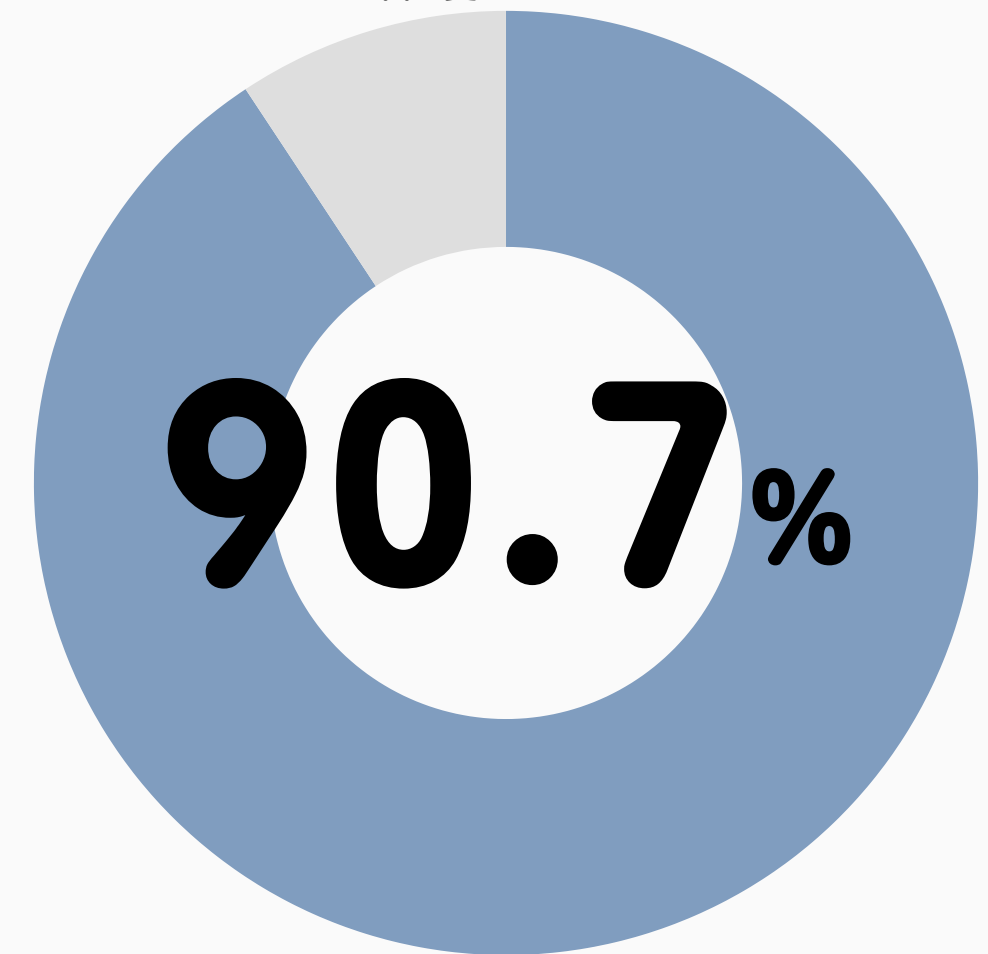
「学校生活が楽しい」

92.1%

多様な学びの機会が子供たちの「楽しさ」と保護者の「信頼」につながっている。



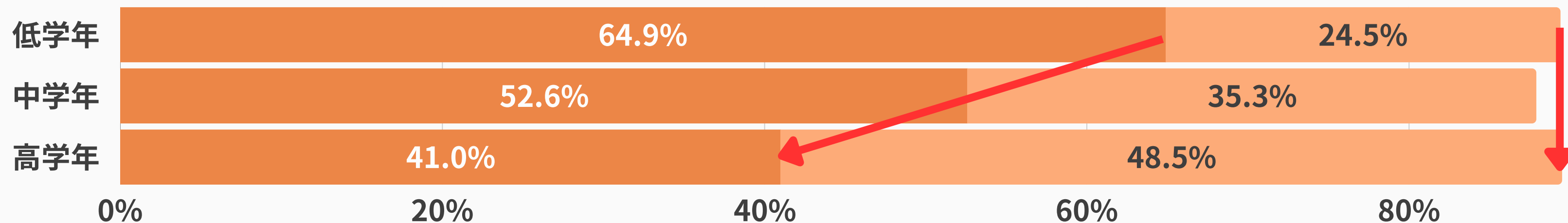
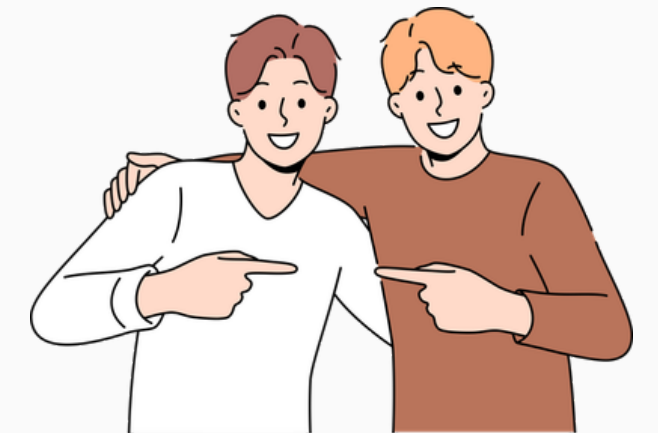
保護者回答



他者意識が高学年になるにつれて、薄くなる傾向

自分から、困っている友達の手伝いをしたり、やさしく声をかけたりできる。

● そう思う ● どちらかというと思う



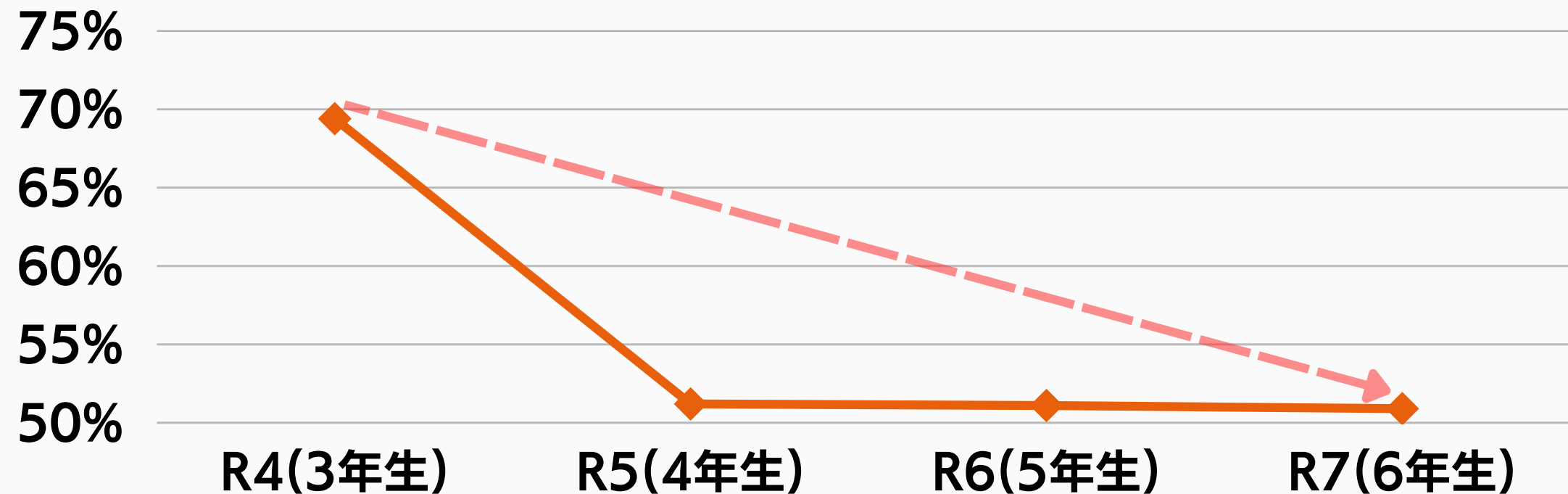
「授業を受ける」姿勢から
「互いに学び合う」関係性へ



きまりを守る意識の変化

「順守」から「自律」へ

きまりを守って、学校生活をおくっている
「そう思う」と回答した現6年生の経年変化

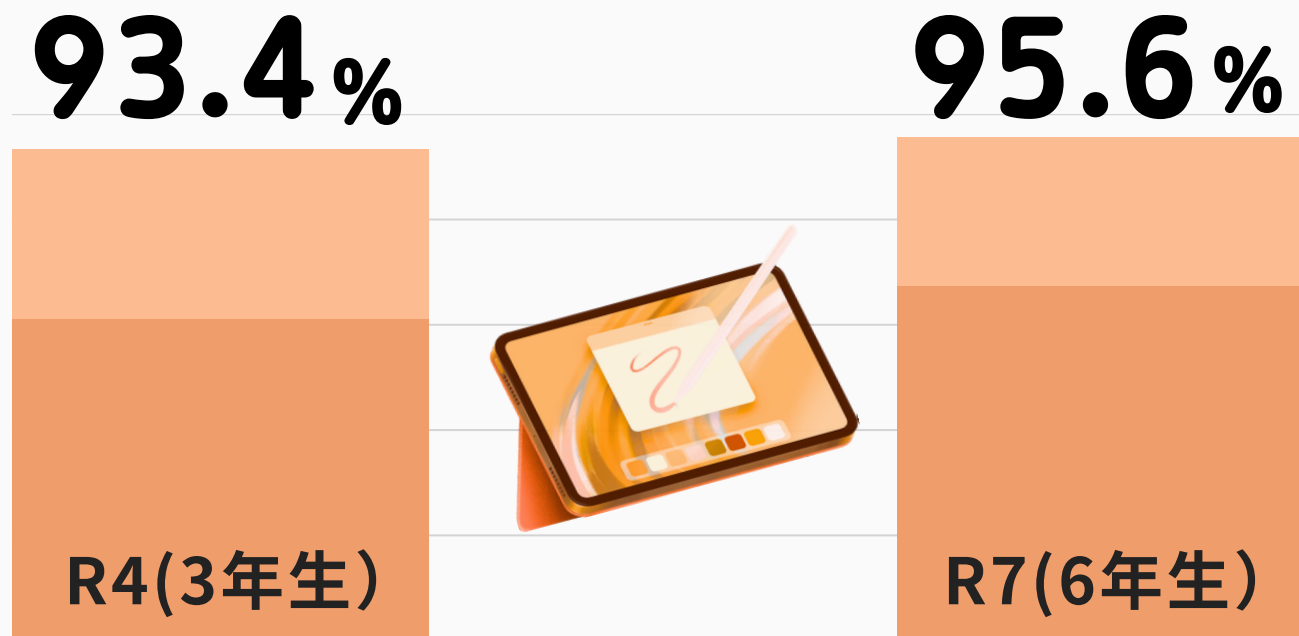


高学年になるにつれ、「きまりを守る」意識の徹底が難しくなる。これは自律心の表れと捉えることもできる。

「言われたから守る」段階を脱し、なぜルールが必要かを理解し、互いに高め合うための「マナー」として捉え直す指導が必要。

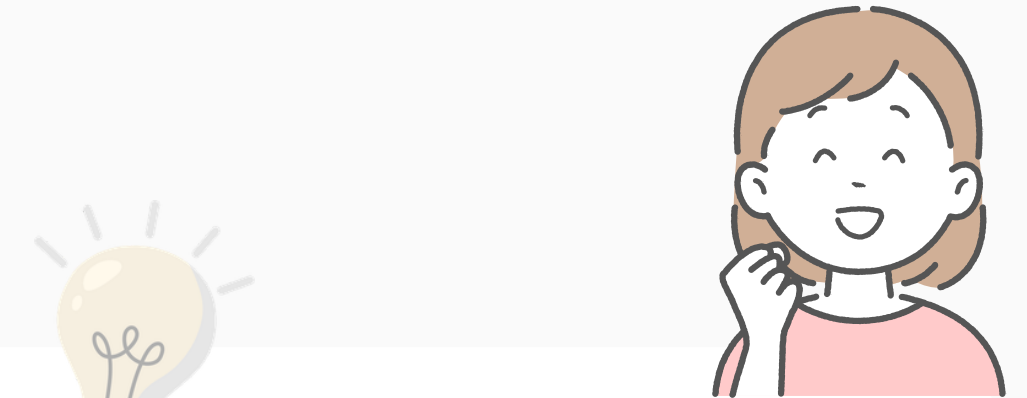


ICTの日常化と「やってみよう！」の浸透



GIGA端末の有効活用高水準を維持

「特別なもの」ではなく「当たり前前の文房具」



児童（肯定的回答）

91.2%

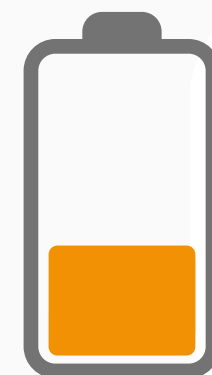
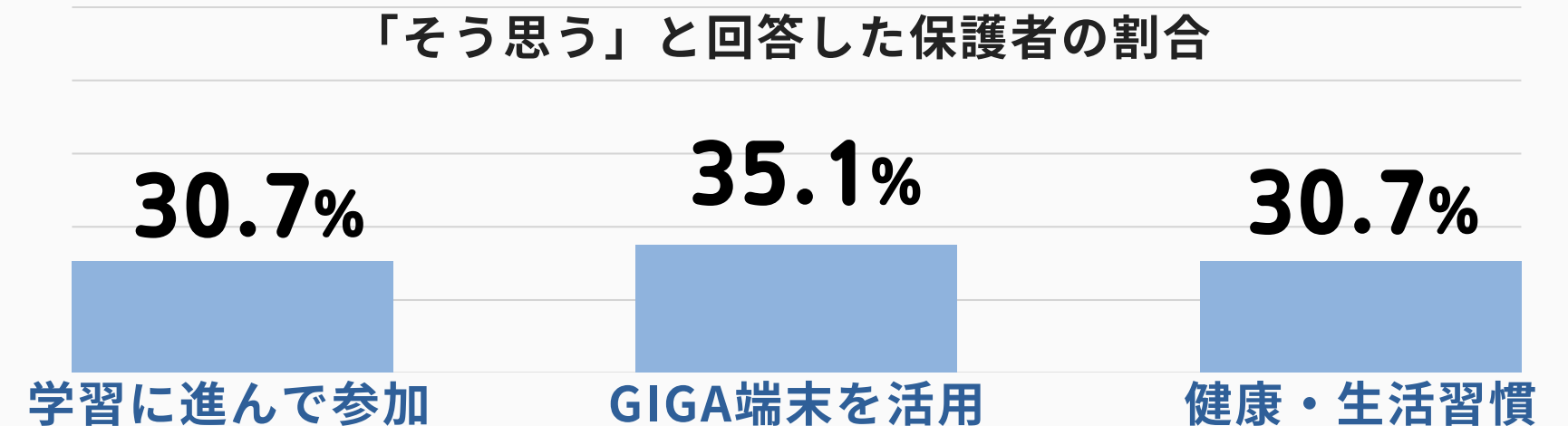
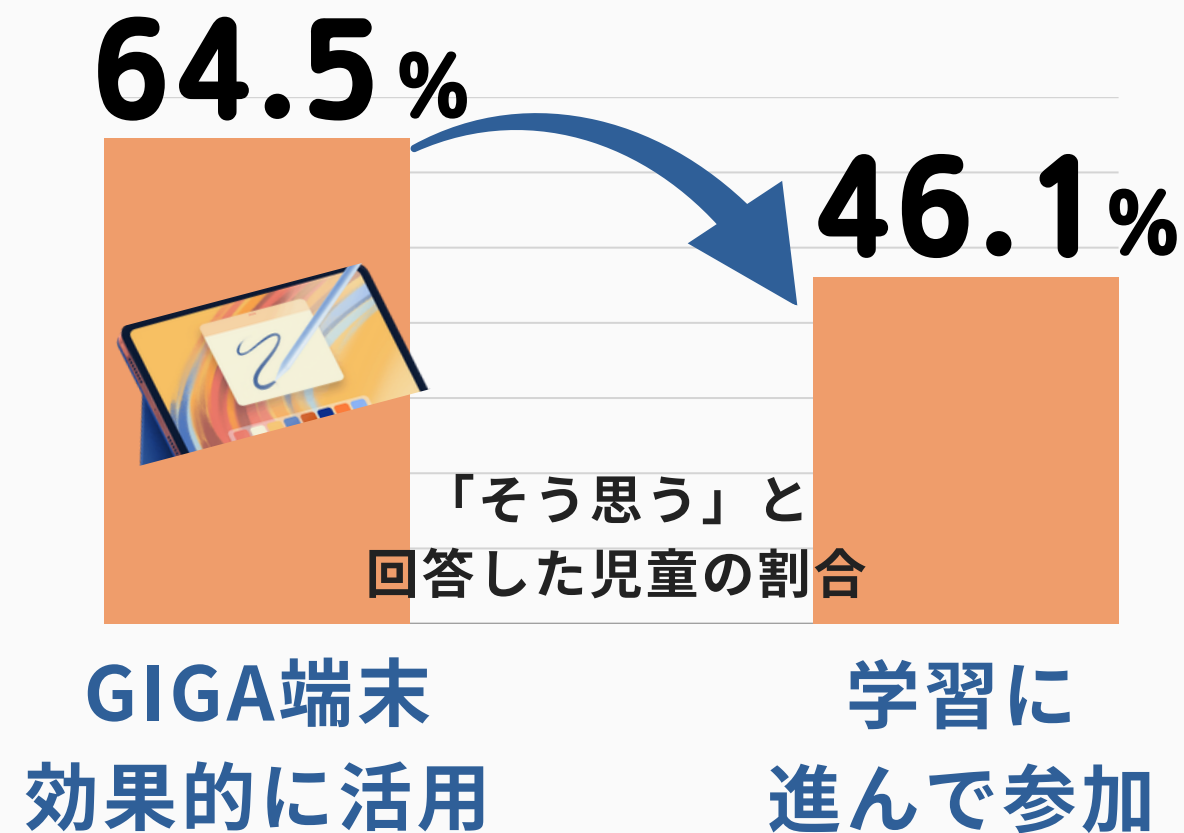
保護者（肯定的回答）

85.9%

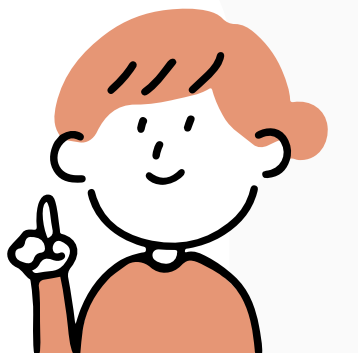
スローガン「やってみよう！」に対する意識

主体性を引き出す指導・支援の充実

端末活用の質的変換や「自己調整学習」へのアプローチが必要



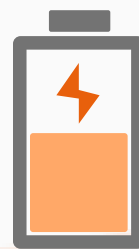
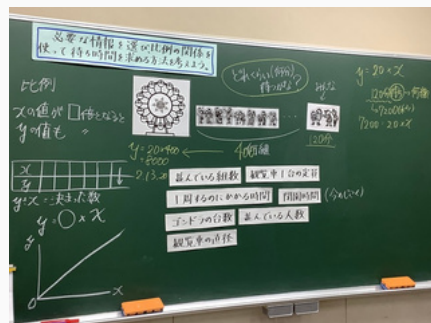
端末は使えるが、それを「自らの学びを深める」ために使いこなす主体性はまだ伸びしろがある。



自ら考え判断し、自分の思いや考えを表現し伝え合う子
 ～子ども自身が選択し、振り返る 個別最適な学びと協働的な学びをつなぐ授業づくり～

1

自分ごとになるような課題設定
 日常場面と課題を繋げたり、自分なりの
 課題を立てて取り組んでいます。



2

学びの場の工夫 協働的な学びの浸透
 授業内容、課題に合わせて、学びの形を
 柔軟にデザインしています。



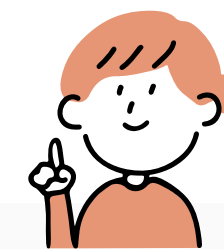
一体的な充実
 自己選択・自己決定

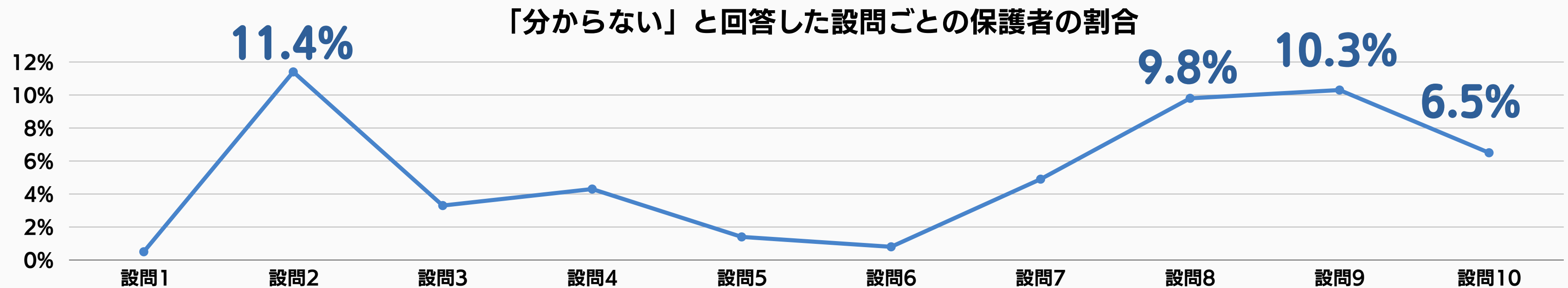
3

一人ひとりのペース 個別最適な学び
 タブレット端末も活用して、自己選択・
 自己調整を目指す学びを進めています。



日々、授業のアップデートを行っていきます





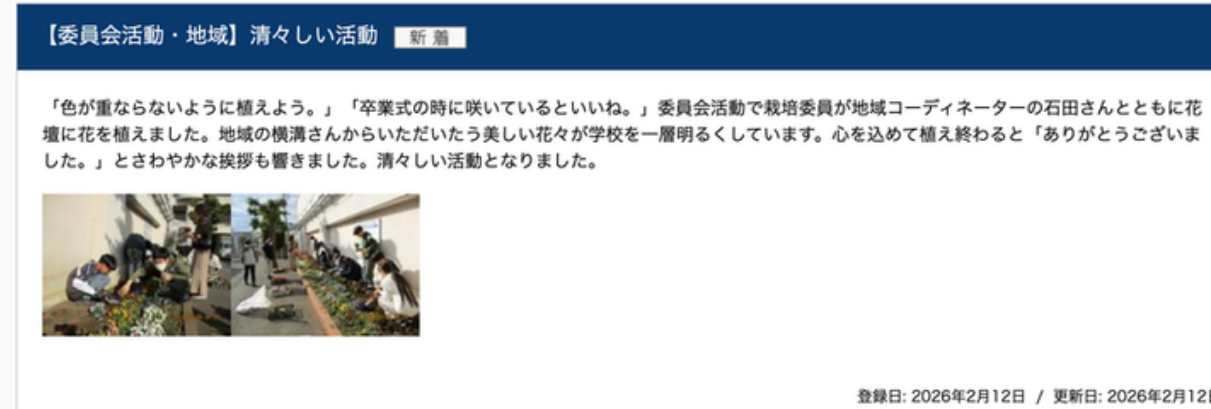
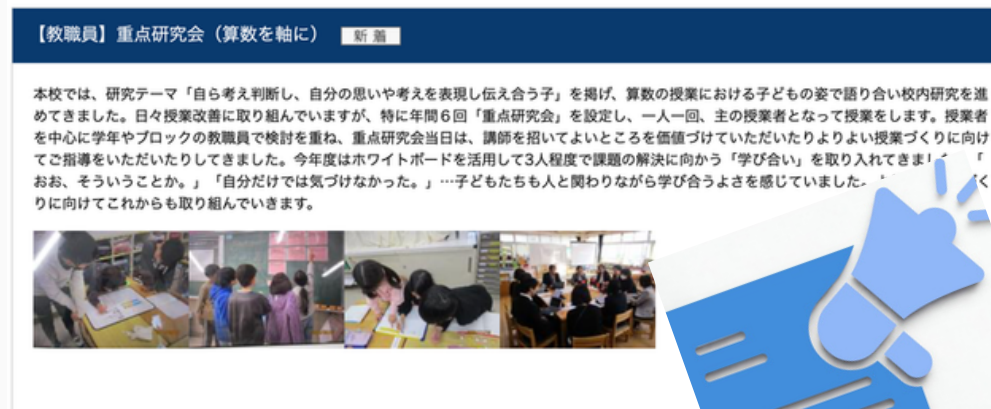
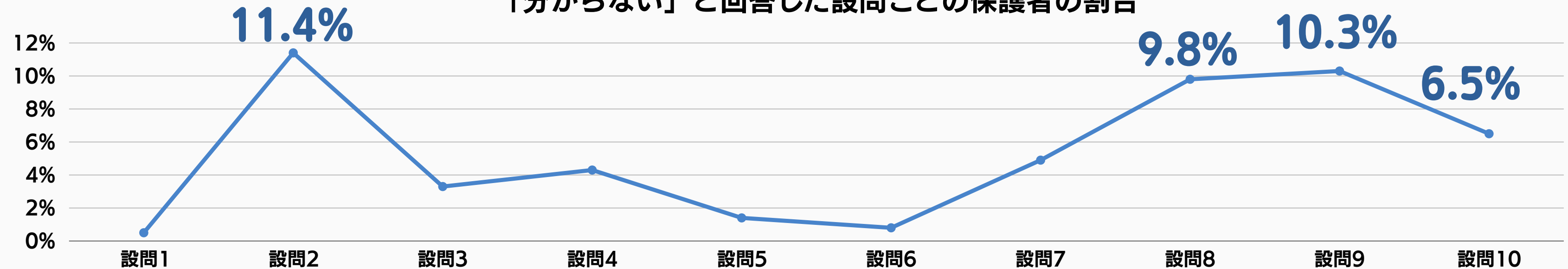
設問2 お子さんは、GIGA 端末(iPad)を効果的に使って学習に前向きに取り組んでいる。

設問8 学校は、担任だけでなく、複数の職員で一人ひとりの子どもたちに寄り添った指導や支援に取り組んでいる。

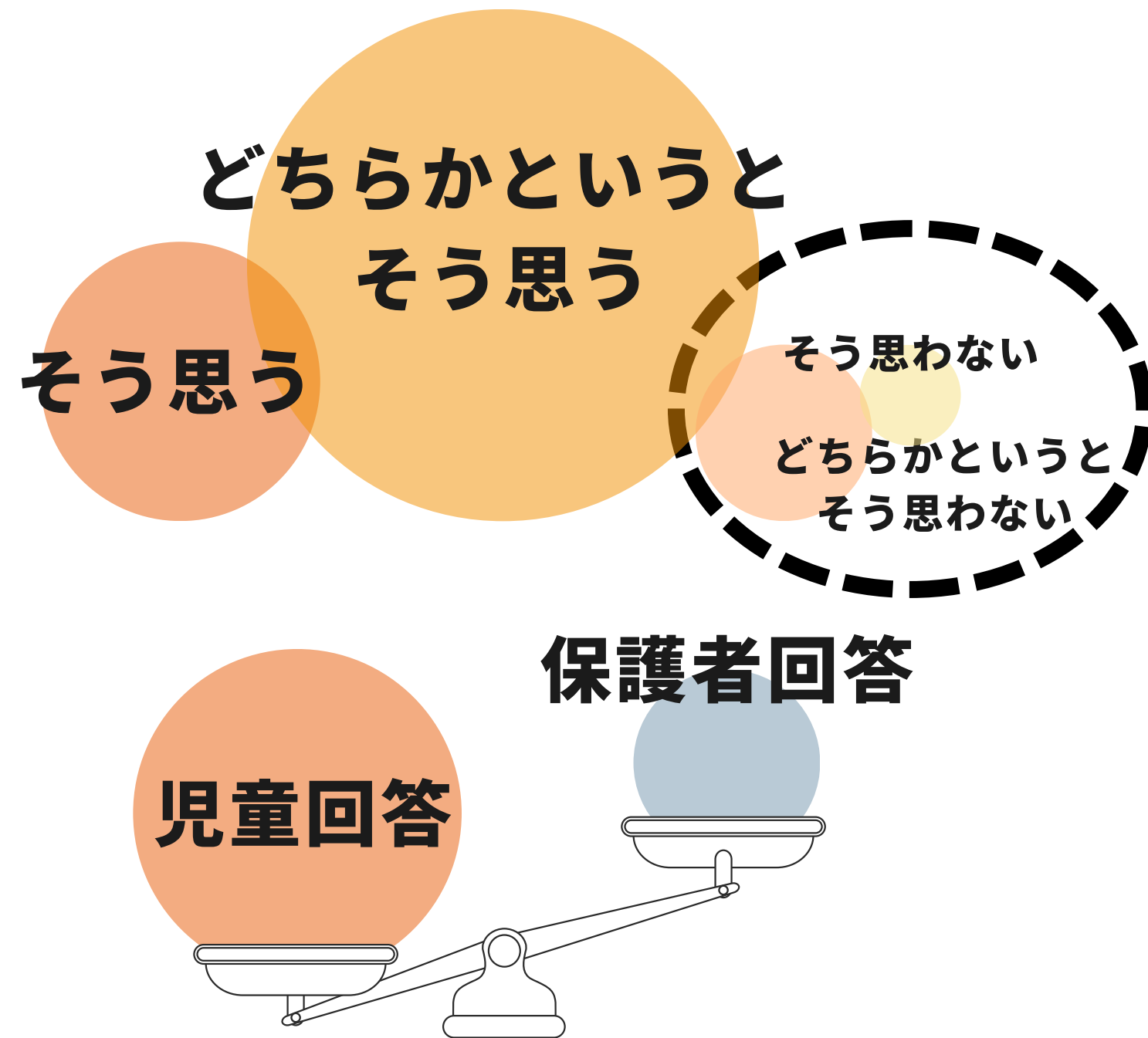
設問9 学校は、子どもの「やってみよう！」を引き出し、実現に向けて児童・教職員が協力して教育活動に取り組んでいる。

設問10 学校は、子ども同士の関わりを大切にし、互いに高め合えるよう、授業内容や行事内容の工夫に努めている。

「分からない」と回答した設問ごとの保護者の割合



学校HPでの発信をより身近に！



肯定的な回答が多い一方で、「そう思わない」「どちらかというと思う」一定数が回答

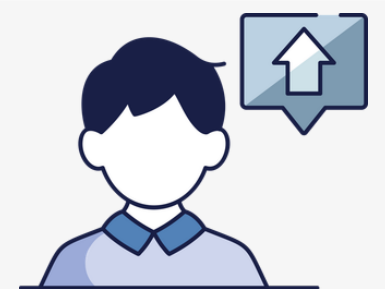
回答に表れない長期欠席児童へのアプローチ

「そう思う」と言い切れない自信の低さ



家庭と学校での姿の違い

家庭の教育活動に求める期待の大きさ





一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな支援
担任・児童支援専任を中心とした組織づくり
SC・SSWなどの関係機関との連携



オンラインでも授業に参加できる環境づくり
一人ひとりのペースに合わせて学べる環境



「やってみよう！」のスモールステップ化
ゆっくりとそれぞれのペースに合わせて

